



中太小コミュニティスクールだより

子育て三輪車

学びの主役は子供 教育の主役は保護者 しっかり支える学校・地域

中太閤山小学校学校運営協議会

第6号 2026年2月発行

望ましい子育て協働体をめざして

ボランティア協力いただく効果

今年度も多くのボランティアの方に授業や活動にご協力いただきました。先生方はとても感謝していらっしゃいました。

一校時45分間の限られた時間の中で多くの子供が学んでおり、一斉指導だけでは目が行き届かず、成果に満足できなかつたり、寂しい思いをしたりする子供がいることがあります。

そんなときに傍で励ましたり、補助したりしていただだけでも子供たちの学習意欲や満足

度はぐんと高まります。また、先生の気付かない子供のよさを教えていただくこともあり、以後の指導に役立てているそうです。今後も、多くの皆様にご協力いただけると幸いです。



<先生方の声>

- ・ **ミシン使用の授業**：複数の子に同時に指導しなければならないときもあるので、小さなことに目が行き届きとても助かった。
- ・ **算盤を使う授業**：全体で指導しても上手に珠を動かせない子供が多いので個々にみていただき成果が上がった。
- ・ **書道の授業**：子供たちは筆に慣れていないため、持ち方や動かし方、始末の仕方など細やかに配慮いただき感謝している。
- ・ **昔遊びの活動**：コマを使う際に巻き方や投げ方を丁寧に教えてくださり上手にできるようになって嬉しそうにしていた。



第4回学校運営協議会報告

2月7日（土）に第4回学校運営協議会が開かれ「学校評価」の結果と、子供の言動、学力、人間関係等の状況について学校から説明を受けました。説明からは、一人一人の子供や保護者の思いに寄り添って教育活動を進めるよう努力されていることがわかりました。

改善を要することも明らかになり、学校としては教育活動や指導内容、方法について次年度に向け検討していくとのことでした。

質問・意見	回答
以前も話題となったメディアや生活時間などは家庭の問題ではないか？	今年度は教育計画にそれらを含めて指導してきており、次年度にはアクションプランの内容を改変する予定である。
生徒指導面で保護者、地域から連絡などはあるか？	下校の仕方や放課後の遊ぶ様子等について連絡をいただくことがある。
こども110番の現状はどうなっているか？見直しも必要では？	PTA 役員で確認作業実施。導入当初からかなりの年月が経ち、主管が不明確となっている。 内容の検討、修正が必要。
清掃の雑巾がけは1～6年まで全員がやっているのか？	お手本のビデオを作成、視聴し、全員がしている。学年の枠を超えて交流するような雰囲気もある。
放課後の見守り時、待っていても子供が来ない状況がある	一斉下校・帰宅にはならないため、通行時刻に差が出てしまうことは了承いただきたい。
放課後健全育成事業(学童保育)への登録の課題は？	市の規定に従って募集を行っているが、個々の事情に則して対応するよう配慮している。

学校が果たすべき役割は？

中太小の先生方が本来の役割である「教育活動(学習指導)」に思い切り取り組めるように保護者や地域がサポートしていくことが必要ではないか、という意見がありました。

そこで、学校の役割について少し考えてみたいと思います。

これからの時代が、今の大人が経験したことのないほどにいろいろなことが急激に変化し、ますます先の読めない時代になっていくと考えると、子供たちは「自分から学び続ける力」を身に付ける必要があります。中太小が取り組んでいる「自学」はそこを捉えていると考えられます。また、よく話題に上がるデジタルメディア利用も、十分な配慮をして与えなければなりません。ツール(道具)として活用できる能力は自学力を得る上では有効です。

また、子供たちが人間関係力や社会性を身に付けるためには、学校での集団による学習や生活が有益だと思われれます。

現代社会では、個人優先の考え方の広まりで自分の好きな人や物事(SNS、youtube等)にばかりかかわることで異質な人や物事を嫌う、避けるという風潮が強くなっているという見方もあります。新しい人や物事、状況に馴染めないストレスが引きこもりや不登校の引き金になる場合もあるともいわれます。

子供たちが、稚拙であっても子供なりの考え方や理屈を表明し合いながら、よりよい集団(人間関係を含む)をつくり上げていく経験の場として「子供と先生の時空間」を、大人は大事にする必要があるのではないのでしょうか。一例として「学級会」があります。

話し合いで物事を解決することは民主主義の基本であり、「学級会」はリーダーとフォロワーの在り方や建設的な会議の進め方等、大人の世界でも活かせる力を育てる機会となっています。

あってはならないことですが、子供同士で解決すべきトラブルに大人の論理や現実論を無闇に持ち込んでしまい刑事事件に発展する例も多々あります。

学校の大切な役割は「自分たちの力で課題を解決できる力」を育てることにあり「子供たちの思いや考えを公平に上手くつなぎ合わせる力量」が先生に求められるということになります。

中太小で「自ら学ぶ人」を育てる取組がしっかり行われているかどうかを評価し、よりよい学校づくりに向けて提案、助力することがCSの役割となるのかもしれませんが。

中太小で優れた教育指導が展開されるよう保護者、地域の皆様のご協力をお願いします。

へえ、そうなんだ!

気軽に読んでいただけ

るよう、主にネットで得た情報を2次元コードで紹介します。他にも多様な考え方があることをご理解の上ご覧ください。

今だから、基礎学力の話をしてみよう～基礎学力とは、どんな力?読み・書き・計算、その先に何がある?

白山乃愛・金田一秀穂

(2024/1/15 産経新聞)



小・中学生の「学力大幅低下」成績に「こだわらない親」が6割超え!親世代からのリアルな声続々
(2025/10/12 TOKYO FM+)



AI時代に生き残る子と淘汰される子の、決定的な「育ち」の差

(高濱正伸 花まる学習会 青春文庫)

(2025/12/12 ダイヤモンドオンライン)



教員も実感、小学校で「暴力行為18.6%増」過去最多の深刻《叱れない教師・親、理不尽に怒り散らす大人…》社会に広がる“叱れない構造”が影響か (松尾英明 千葉県公立学校教員
2025/11/13 東洋経済 education×ICT)



日本の学校教育はサービス過剰。「指示されて当たり前」の状況に慣れた子供は受け身の姿勢で育ち、自分で判断する力が育まれない

(岡田武史・工藤勇一 2025/10/25 婦人公論)

